

## 私のすすめるこの1冊

浜田 麻里 (国文学科 教授)

### 『カレンダー 学校のはる・なつ・あき・ふゆ』

山本 純子(著)

詩集『カレンダー 学校のはる・なつ・あき・ふゆ』は、子ども向けの詩を集めた詩集です。著者の山本純子氏がこれまでに発表された詩の中から子ども向けの詩を選び、「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」「はる・卒業」の5章に分けて編まれたものです。1回生のみなさんの中には、入学式で学長がこの詩集から引用して紹介された「えんぴつ」という一篇を覚えている人もいるかもしれません。

子ども向けの詩なのですが、読んでみると、自分の心の奥深くに隠れていた子どもの私が目を覚ましたり、大人になった今だからこそ響いてくる言葉があったりします。みなさんもきっとお気に入りの詩に出会うことができるでしょう。

「あとがき」には、「学校で配付される『〇〇だより』といったプリントの片すみにイラストを添えるように、この詩集の詩をプリントに載せて子ども達に届けてほしい。」との趣旨が記されています。子ども達に接する機会がある方は、ぜひこの詩集でもって、世界や言葉を豊かに、みずみずしく感じる経験へと子ども達を誘っていただけたらと思います。

山本氏は2004年に「現代詩の芥川賞」と称される「H氏賞」を、2022年には優れた児童文学作品に与えられる「児童ペン賞・詩集賞」を受賞されていますが、最近ご退職になるまで、京都市立高校で国語科教員として勤務しながらの「二刀流」を続けてこられました。実は、

本学の大学院教育学研究科国語教育専修の修了生でいらっしゃる、本学とも縁の深い方です。

そしてなんと山本氏は、今年度後期金曜3限に本学で「国語表現論」をご担当くださいます。日頃から詩だけでなく様々な表現活動に携わっておられ、授業でも詩や俳句を含む多様な表現に親しむ機会を用意してくださっているようです。ぜひ受講をお勧めします。

最後に、この「図書館ニュース」の片隅に季節のイラストを添えるように、今の時季にぴったりの短い詩を本書から引用してお届けします。

水着

山本純子

去年の水着が  
まだ着られるか  
夕ご飯のあとに着てみたよ

着たら何だか  
ぬぎたくないの  
着たまま おふろに入ったよ

水着をぬいでも  
水着のあとは まだついてない

もうすぐプール開き

## 第35回「うたとおはなしの会」報告 平井恭子(幼児教育科 教授)

4月22日(土)に第35回「うたとおはなしの会」を開催しました。当日は朝からさわやかな青空が広がり、開演を心待ちにしていた15組の親子がぞくぞくと会場に集まってきました。

まず、幼児教育専攻4回生4名が歌う「おはながわらった」のオープニングに続いて、パネルシアター「こいのぼりのかぞく」が始まりました。こいのぼりのおとうさんが会社に出掛けたり、家族でご飯を食べたり雲のお布団で寝たりするお話を、どの親子もにこにこ笑いながら見ていました。



こいのぼりのお話が終わると、楽屋からヴィヴァルディの「春」を演奏しながら6名の音楽隊(音楽領域専攻学生)が登場しました。本物のヴァイオリンやトロンボーン、クラリネット、フルートなどの楽器を見て、子どもたちは最初、少し驚いたような表情でしたが、「はらぺこあおむし」のうたと音楽が始まると、親も子もすっかりあおむしの世界に引き込まれ、歌が終わると会場から大きな拍手がおこりました。続いて、鍵盤ハーモニカとリコーダーによる「トレパック」(チャイコフスキー)の演奏を鑑賞し、最後は子どもたちも打楽器で音楽隊と一緒に「ちいさなせかい」の演奏を楽しみました。2歳女兒と一緒に参加した母親は「目の前で本格的な音楽を聴くことができ、とても素敵でした」と、感想を述べていました。

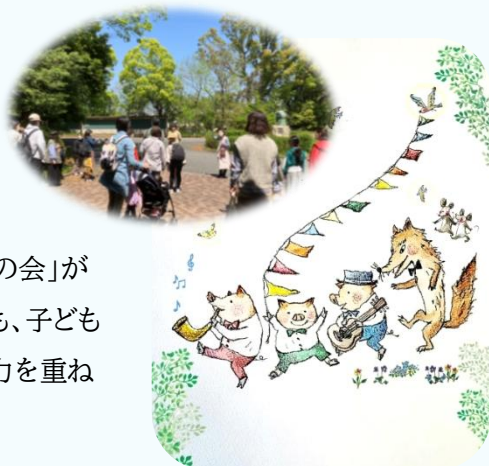


続いて、親子で手遊びを楽しんだ後、いよいよ最後の演目「さんびきのこぶた」の人形劇が始まりました。子ぶたたちが藁や木で家を建てる様子を楽しそうに見ていた子どもたちも、おおかみが観客の後ろから登場する場面では、怖がって泣き出したりお母さんにしがみついたりする姿も見られました。しかし、最後にれんがの家の煙突から侵入したおおかみを、子ぶたたちがやっつけた場面では、親子で顔を見合わせてほっとした表情を浮かべている様子が印象的でした。



最後は4月7日に入学したばかりの1回生が登場し、こぶたやおおかみと「ピクニック」を合唱して賑やかなフィナーレになりました。終了後のアンケートでは、「想像以上の内容で、参加できて本当に良かったです」「子どもだけでなく、親の方がリフレッシュできました」「できれば毎月開催してもらいたい」「次回も必ず参加したい」など、好評をいただきました。

終了後には、理学科の藤浪先生のご協力を得て、キャンパス春みつげツアーが行われました。お土産でもらったあおむしやちょうちょ(学生の手作り)を手に、春の自然を満喫する親子の姿がたくさん見られました。幼児教育専攻の学生だけでなく、他領域の学生や教員のご支援をいただくことで、「うたとおはなしの会」がより充実したものになっていくを心から嬉しく思います。これからも、子どもたちや保護者に心から喜んでいただけるような会を目指して、努力を重ねていきたいと思ひます。



京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第36回の報告

YouTubeで公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=iFe5zCn0KZQ> (YouTube公開のみとなります。)

【講師】中村 瑛仁(教育学科 講師)

【テーマ】データでみる日本の教員の現在

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください!

リクエストと投票で話題の本を読もう!

学生・教職員のみなさまからのリクエストをお待ちしています。どんどん参加してください!リクエストは随時受付中です。※結果によっては購入できないこともあります。

【投票期間】6月1日(木)~7月16日(日)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

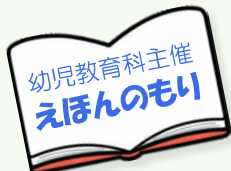
企画展示室(北館1階)

「未来のイノバタを育てるSTEM教育」出版記念・巡回資料展(大隅紀和 名誉教授)

【会期】6月19日(月)~7月7日(金)

告知

児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)  
『カルちゃんエルくんあついあつい』  
作・絵:いむら かずお  
出版社:ひさかたチャイルド



※児童書コーナーに  
かわいいカードが  
飾られていますの  
で、ぜひ見に来てく  
ださい。

国立国会図書館デジタルコレクション  
の複写料無償化の試行について

図書館では国立国会図書館デジタルコレクションの複写に係る費用の無償化を試行します。複写料無償化の利用条件等は以下のとおりです。ぜひ勉強や研究に役立ててください!

【利用できる方】

本学の学生(京カレッジ生を除く)、教職員(卒業生、一般利用者の方はご利用いただけません)

【印刷(複写)方法】

閲覧可能な資料について、著作権の範囲内で複写ができます。

- ・当該資料が図書館に所蔵されている場合はそちらをご利用ください。
- ・複写は職員が行いますので、カウンターにて所定の申込書に複写希望資料の情報やコマ番号をご記入ください。
- ・受け渡しは原則として翌日以降となります。

学修相談カウンター

院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか?6月から実施します!

詳しくはHP等でご確認ください→



保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居を集めました。

【期間】6月5日(月)~7月1日(土)

【場所】南館1階 児童書コーナー

「ももたろう」、「3びきのこぶた」、「おおきなかぶ」、「3びきのやぎのがらがらどん」



貸出  
できます

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【6月の開館日時】

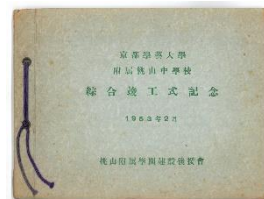
5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月) 14:00~17:00

今月の逸品(6・7月)

京都学芸大学 附属桃山中学校  
総合竣工式記念

1953年2月  
桃山附属学園建設後援会

展示場所:附属図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **齊藤 恵太** (社会科学科 准教授)

### デンマーク戦争(1625-29年)再考 —国のかたちという視点から—

齊藤 恵太

京都教育大学紀要 2023, No.142, pp.79-97  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9773>

現代のヨーロッパの地図を広げると、まず目につくのはフランスやドイツのように有名な国でしょうか。しかしよく見てみると、それら聞きなじみのある国々の狭間にはモナコやリヒテンシュタイン、ルクセンブルクといった「極小国」があることに気づきます。

時間を400年ほど遡って17世紀のヨーロッパでは、そうした「極小」サイズの公国や伯領が500ほどありました。その多くが集まっていたのは神聖ローマ帝国です。これは現在でいうドイツやベネルクス三国、イタリア、オーストリア、チェコなどにまたがって存在した一種の国家連合で、皇帝をリーダーとしていました。

皇帝という日本では中国型の強力な権力者を想起しがちですが、神聖ローマ皇帝の場合、公や伯などの称号を持つ無数の君主をいわば調停者としてまとめていたにすぎません。帝国内の小国君主が婚姻などを通じて外国君主と結びついたり、あるいは外国君主が相続などによって帝国内の小国を得ることも可能でした。明確な国境と主権を前提とする現代人からすると、不思議な政体ですね。裏を返せば、現代における国家のありようを歴史的な文脈のなかで相対化するには格好の素材といえます。

本稿では近世国家のこうした複合性について、デンマークと神聖ローマ帝国の関係を例に考察しています。当時のデンマーク王家は神聖ローマ帝国内にホルシュタイン公国をはじめとする小国を領したうえ、デンマーク「本国」も一枚岩ではありませんでした。そうした国のかたちがどのような問題を孕んだのか、本稿は三十年戦争(1618~48)のうちデンマーク戦争と呼ばれる局面に注目して検討しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 142号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)」の森 <https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

6/1 創立記念日

2023年7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7/5 館内整理 7/30 試験期開館

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.273 (2023年6月号)  
発行日:2023年6月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION